



優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば

社協広報

第72号



写真 家屋が倒壊した様子

写真 電気の確保のため、
車中での作業を行う様子

災害に備えて私たちが考えること

平成23年3月に起きた東日本大震災から5年が経ち、またその年は、松本でも大きな地震がありました。

今年4月には、熊本地震があり、あらためて被災者支援のあり方を検討する機会となりました。

県社会福祉協議会からも現地へ職員が派遣され被災者の支援を行ないました。

そこで今号は現地の状況をお伝えするため、熊本地震について特集を組みました。

詳しくは1～2ページをご覧ください。

熊本地震	1・2
地域での取り組み	3
寄稿－東日本大震災の被災地に想いを寄せて－	4
会長就任あいさつ/会長退任あいさつ	5
会計決算・予算概要報告	6
平成27年度 助成金交付事業の概要	7

熊本地震



4月14日21時26分に発生し、最大震度7を観測した平成28年熊本地震。
1,500回を超える余震が続き、今も約7千人（6月6日現在）の方が避難所で生活されています。

◇長野県社会福祉協議会の動き◇

県社会福祉協議会では、全国社会福祉協議会の要請に基づき、熊本県内の災害ボランティアセンター支援のため、4月27日(水)～5月5日(木)の9日間、職員4名を「災害初動時における先遣チーム（DSAT）」として被災地(熊本市内と阿蘇地域)へ派遣しました。

熊本市災害ボランティアセンター東区サテライトでの支援

熊本市社会福祉協議会は4月29日から同市東区にサテライトセンターを立ち上げましたが、震度7を記録した益城町に隣接し、被害も大きくニーズも多かったため、同サテライトでは団体ボランティアの対応を専門に行ないました。

阿蘇地域での支援

阿蘇地域は、阿蘇大橋や幹線道路のトンネルの通行止めなど、生活圏域である熊本地域との交通のアクセスが悪化したため、逆ルートで隣接する大分県竹田市社会福祉協議会にボランティアの中継地点としてベースキャンプを5月1日に立ち上げました。

また被害が大きかった南阿蘇村では、数少ない職員で福祉施設を運営することが限界に達しつつあり、介護職員の不足が大きな問題となっていました。村内の福祉施設の協力を得て「福祉救援ボランティアネットワーク」を立ち上げ、介護・看護の資格を持つボランティアを各施設に派遣する仕組みを支援しました。

上記以外にも、生活福祉資金(緊急小口資金)の特例貸付に伴う職員派遣が行なわれ、5月6日(金)～16日(月)までの11日間の貸付実績は4,899件でした。

また、全国社会福祉協議会と連携を取りながら、災害ボランティアセンターの受け入れ状況等の情報を収集し、ホームページ、メール、県社協報で発信しています。

【現地の様子】



阿蘇大橋崩落現場(南阿蘇村)



ボランティア活動希望者からの電話を受付
(熊本市災害ボランティアセンター東区サテライト)



南阿蘇村社協のデイサービスセンター
福祉避難所として70名の高齢者が避難、
17名の職員が24時間体制で支援している。



南阿蘇村内の介護事業所内に、介護専門職による
応援受入のためのセンター設置を支援した。

◇熊本市内のボランティアの様子◇

熊本県内の各市町村社会福祉協議会において、災害ボランティアセンターの開設を4月16日頃から予定していましたが、16日未明に発生した地震の影響で開設が延期され、4月19日頃から順次災害ボランティアセンターが開設されました。

5月の大型連休中には被災した家屋の瓦礫撤去作業や、家屋内の片付けなど1日で3,000人を超えるボランティアが参加し、6月1日現在で延べ74,000人を超えたそうです。

しかし、大型連休が終わったことで、ボランティア活動へ参加できる方や、NPO・NGOをはじめとする民間団体が少なくなっている現状があるようです。

今後も家屋の片付けや瓦礫の撤去、避難所での生活支援、市営・



ボランティアへの業務内容説明
(熊本市災害ボランティアセンター東区サテライト)

町営住宅、仮設住宅への引っ越しなどにより、少しずつ被災者の日常生活確保が予想され、今後もボランティア活動の支援は必要とされています。

◇ボランティア活動をする上で留意するポイント◇

・個人でボランティアに参加される方

ボランティア参加は事前の申し込みが必要な場合や、当日、朝現地ですぐ受付の場合など、地域によって受付方法が異なる場合があります。最新情報を入手するようにしてください。

自らの責任で、宿泊場所、食事、移動手段を事前に確保する、ボランティア活動保険に加入する、必要な装備を準備するなど、時間に余裕をもって計画を立ててください。

現地では今も余震が続いており、家屋倒壊による交通規制や亀裂、段差による速度制限などもあります。また、天候の変化や寒暖差が大きな日もあります。熱中症を防ぐための水分補給や食中毒対策など体調管理を徹底するほか、ボランティア活動中のケガや二次災害などにも十分に配慮するようにしてください。

ボランティア情報

株式会社フジドリームエアラインズ信越営業支店では、熊本地震にかかるボランティア支援者向けに航空搭乗券の割引があります(被災地での宿泊先確保、福岡空港と熊本県内の移動、希望するボランティア活動先との連絡・調整・申込については別添内容に含まれません)。

・対象期間

受付：平成28年5月12日(木)～6月30日(木)
搭乗：平成28年5月12日(木)～7月15日(金)

・利用条件

熊本震災での被災地への救援、ボランティアを目的に熊本に行かれる5名以上の団体

※ご利用者はボランティア保険に加入してください。

・対象便

区間：松本空港＝福岡空港
ダイヤ：FDA205便 14：30 松本発 16：10 福岡着
FDA207便 16：30 松本発 18：10 福岡着
FDA202便 10：20 福岡発 11：50 松本着
FDA204便 12：30 福岡発 14：00 松本着

・価格

10,000円/片道・人

※上記条件を満たした場合に適用します。

※但し、空席状況によってはご提供できない場合もございます。空港に直接お越しいただいてもこちらの条件ではご利用できませんので、下記まで事前にお申込みのうえご利用ください。

・お申込先

株式会社日本旅行松本支店 担当：下條・田中・山本
受付時間 平日10：00～17：00 土日祝：休み

受付時間以外のお問合せについては翌営業日の対応となります。

TEL：0263-34-5555 FAX：0263-35-3925

※宿泊先等についてもご相談ください。

福岡空港からのアクセス事例

- ・福岡空港 ⇒ 地下鉄5分 ⇒ 博多駅 ⇒ 新幹線38分自由席4,710円 ⇒ 熊本駅
- ・福岡空港 ⇒ 高速バス約2時間2,060円 ⇒ 熊本市街(熊本交通センター)
- ・福岡空港 ⇒ レンタカー(約100km高速利用)約100分 ⇒ 熊本市街

「下大池祭り中年の会」から 熊本地震への義援金をお預かりしました

5月6日(金)いちいの里において、「下大池祭り中年の会」から、熊本地震に役立ててほしいと、義援金の寄付がありました。

代表の曾根原覚さんからお話を伺うと、4月28日(木)、29日(金)に行なわれた八幡神社のお祭りの際に募金を呼びかけたところ、区民の皆さんから26,527円の寄付が集まったそうです。本祭りの子ども神輿の時には、小学生も折鶴をイメージした手作りの募金箱で寄付の呼びかけをしてくれました。



5年前の東日本大震災時にもお祭りでチャリティオークションを行ない、その売上を同会から寄付していただきました。

「下大池祭り中年の会」は20代から5代の有志の会で、下大池地区を中心として地域の活性化を目的に定期的集まり交流している会です。集まりの中で自分達も被災地になにか出来ないかと考え、今回の募金につながったそうです。

お預かりした義援金は、日本赤十字社長野支部を通して、被災地に送金しました。ありがとうございました。



手作りの募金箱

岩手県沿岸 被災地視察報告会

東日本大震災「山形村からできる支援」を考える会は、5月14日(土)に被災地視察報告会を、いちいの里研修室にて行ないました。

4月27日(水)岩手県久慈市から太平洋沿岸を南下しボランティアを行ないながら山田町を経て陸前高田市までの道のりを4日間かけて視察しました。

報告会は、震災直後の生々しい津波の映像や写真を交え、現在の岩手県沿岸の様子について座談会形式で行なわれました。被災地には、5年経った今も復興が進んでいないという厳しい現実があり、被災者の方の苦悩や復興の難しさを目の当たりさせられました。

代表の田村さんは「被災地の現状は実際に行ってみないとわからない。震災の記憶を風化させないために現地へ足を運ぶことは意味がある事だ」とおっしゃっていました。

報告会に先立って、岩手県産の海産物やお酒、山田の醤油等が販売されました。また同時に本とハガキの寄付を受け、義援金14,700円の善意が寄せられ、山田町へ贈られました。



「五年を節目としない」 ～東日本大震災の被災地に想いを寄せて～



視察に参加された皆さん

1ヶ月余りが経ちました。熊本・大分の地震災害の状況が気になります。心からお見舞い申し上げます。

さて一方で、2011年3月11日の東日本大震災から5年の歳月が経過しました。山形村社協では5回のボランティアバスパックによる支援を、岩手県の山田町を中心に行いました。私はこれに参加したメンバーとグループを作り、「今でもできる支援」を考え行っています。あの未曾有の災害と、なによりあの時一人ひとりが感じた「想い」を忘

れてはならないと思うからです。

本年も昨年とほぼ同じ時期となる4/27～4/30の間、百瀬厚美さん、稲田元宏さん、小口正さんと、山田町を中心に岩手県沿岸部の復興の状況を視察に行って参りました。

ひとことで言うと「町中が工事現場」。盛土工事がひと段落した上に、災害復興住宅の工事が、あるいは街の区割り工事が本格化しており、いたるところ通行止めで、過去にボランティア支援で作業した場所にたどり着くこともままならない状況でした。ガレキ除去をした場所は、もうほとんどが盛土の下。「あの時のあの場所は今どうなっているのか?」そんな少し感傷めいた想いでいてはいけない状況が進んでいます。

これからもありのままの復興の状況を見守りつつ、「支援」というよりは、ボランティアの「縁」で知り合いになった方々との、友人・知人としての心かようお付き合い、という考え方で、活動を継続していきたいと思っています。

「被災地を支援している皆さん、情報交換しましょう!!」

田村 守康（東日本大震災「山形村からできる支援」を考える会 代表）

連絡先：090-2661-5083





会長就任あいさつ

会長 中村 一博

6月1日開催の理事会において、前任の福澤会長より引き継ぎ、会長に選任されました下竹田区の中村一博であります。

はなはだ力不足ではありますが、皆様のご指導とご協力により、この任を全うすべく努力する覚悟であります。

さて、山形村社会福祉協議会は村民皆様の参加協働と関係機関の支援、そして直接携わってきました役職員の皆様の努力により、基盤が築かれてきました。

更に、山形村にふさわしい総合的な福祉環境を創造し、日々の営みの時も生老病死の時も幸せに生きる地域福祉を推進していきます。そのためには開かれた運営、福祉行政との連携、信頼される業務、専門知識技術の向上に努めます。

若干の抱負を申し上げましたが、村民皆様のご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。



会長退任あいさつ

前会長 福澤 倫治

5月31日をもちまして山形村社協会長を退任致しました。事務局長・常務理事・副会長・会長として長年に渡り社協の経営に係わって参りましたが、微力な私を支えて頂いた役職員の皆々様、村民の皆々様に深く感謝を申しあげる次第であります。

社協は、村民の皆様より会費をいただきながら、地域福祉を村の福祉と共に「誰もが幸せに生きられる福祉環境づくり」を使命として取り組んでまいりました。

お年寄りをはじめ、障がい者（児）福祉の向上の為に、尚一層村当局のご協力をお願いし、また村民各位の今まで以上のご理解とご協力をお願い申し上げ、山形村社協の更なる発展をご祈念申し上げ退任の挨拶と致します。

長い間本当にありがとうございました。

山形村社会福祉協議会理事・監事・評議員（新会期就任者名簿）（敬称略）

（平成28年6月1日現在）

理事

中村 一博(会長)
中村 俊春(副会長)
山口 隆也(副会長)
平沢 恒雄
上條 光明
上原 直
中村 哲久
小林 昭五
小林 司

監事

神通川 清一
赤羽 千秋

評議員

三澤 一男
上条 浩堂
中村 弘
百瀬 昇一
山口 文雄
小山 健二
稲田 治喜
大塚 恭子
花村 英昭

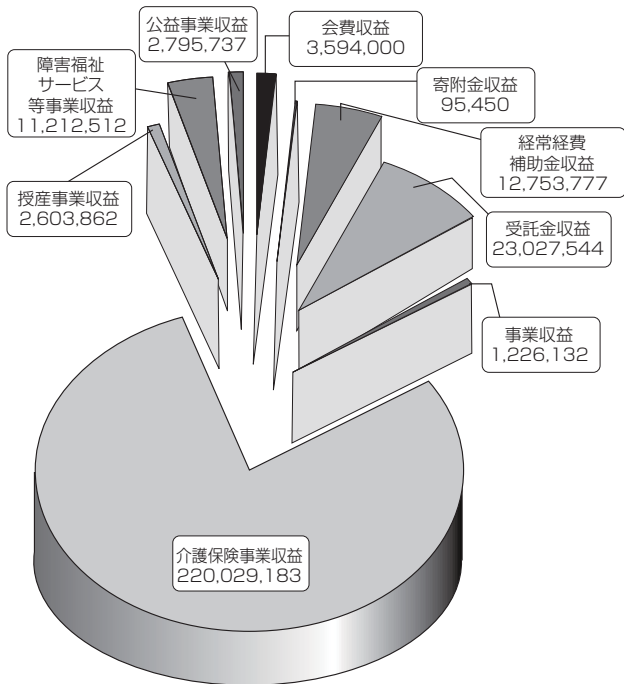
滝澤 隆
浦野 照子
塩原 眞
小林 佳子
根橋 範男
田村 守康
鈴木 一磨
清澤 實視
中村 長雄

林 和男
中村 健
金井 さゆり

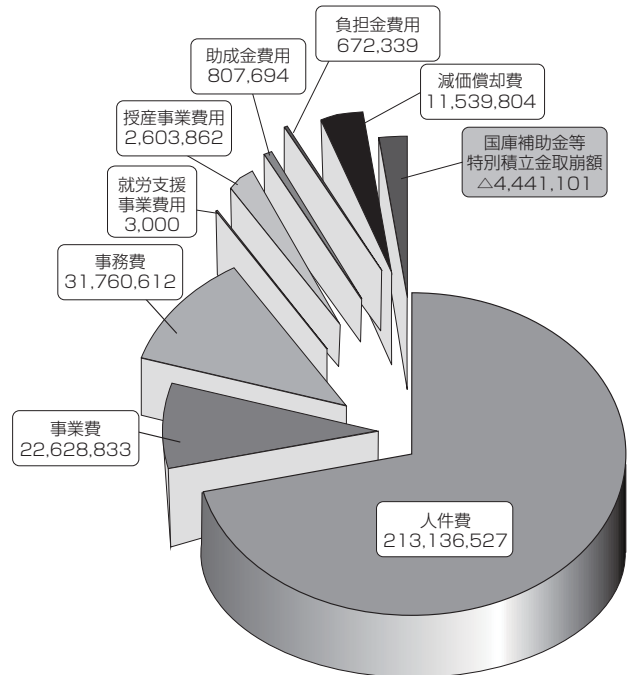
山形村社会福祉協議会/会計決算・予算概要報告

平成27年度 山形村社会福祉協議会/会計決算/サービス活動増減の部 概要

5月31日、保健福祉センターいちいの里で、山形村社会福祉協議会の平成28年第2回評議員会が開かれました。会議では、平成27年度の事業報告並びに会計決算報告等について審議され、それぞれ承認されましたので会計決算の概要をご報告いたします。



サービス活動収益合計 277,338,197円



サービス活動費用合計 278,711,570円

* 収益と費用科目の数値は、「平成27年度事業活動計算書」より抜粋

平成28年度 山形村社会福祉協議会/会計予算概要報告

平成28年度の予算の概要についてご報告いたします。

事業計画では、より良い福祉の地域環境を創造することを基本方針に据えて、重点目標・重点課題が設定され、「誰もが安心して暮らせる福祉の地域づくり」のための具体的な事業・活動等が計画されています。

事業計画に基づき今年度は、収入及び支出それぞれ合計285,794,000円を計上し、資産運用をすることになりました。平成28年度山形村社会福祉協議会会計収入支出予算の概要は以下のとおりとなります。

平成28年度山形村社会福祉協議会/会計収入支出予算概要 (単位:円)

事業活動収入合計	
会費収入	3,620,000
寄附金収入	11,000
経常経費補助金収入	11,605,000
受託金収入	24,306,000
貸付事業収入	398,000
事業収入	1,144,000
介護保険収入	219,808,000
就労支援事業収入	1,869,000
授産事業収入	1,960,000
障害福祉サービス等事業収入	17,817,000
公益事業収入	3,100,000
受取利息配当金収入	6,000
その他収入	150,000
合計	285,794,000

事業活動支出合計	
人件費支出	206,931,000
事業費支出	28,510,000
事務費支出	34,773,000
就労支援事業支出	2,455,000
貸付金支出	400,000
助成金支出	845,000
負担金支出	887,000
支払利息支出	336,000
固定資産取得支出	325,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	786,000
長期運営貸入金元金償還支出	1,860,000
その他の活動による支出	7,331,000
予備費	355,000
合計	285,794,000

平成27年度 助成金交付事業の概要

山形村社会福祉協議会の会費財源または共同募金配分金を財源として、下記の団体に対し助成金を交付しました。

地域福祉団体等助成金		(財源 社協会費)	社会福祉協力校事業助成金		(財源 社協会費)
・山形村遺族会	助成金額	80,000円	・山形小学校	助成金額	50,000円
・山形村知的障害者育成会	助成金額	40,000円	・鉢盛中学校	助成金額	50,000円

指定地域福祉活動支援事業助成金報告		(財源 共同募金)
団体名・グループ名	内 容	助成金額
山形村エコライフを考える会	地域資源有効活用のボランティア実践活動	25,000円
健康マージャン塾	マージャンを通じた仲間づくりと健康促進	25,000円
山形村囲碁クラブ	囲碁を通じた仲間作り	25,000円
山形村食生活改善推進協議会	食の伝統文化を伝承する活動	25,000円
クレヨンママ	パネルシアターを中心とした講演活動	25,000円
ミリオンベル	花を通じた交流、環境美化活動	25,000円
暁岳流詩吟道場	詩吟普及活動(仲間作り、施設訪問)	25,000円
人形劇サークルてぶくろ	人形劇や手遊びによる交流活動	25,000円
山形村史談会	郷土歴史の学習と伝承活動	25,000円
絵手紙サークル団栗	絵手紙の制作と福祉施設への寄付	15,000円
菜の花会	高齢者の仲間・生きがい・健康づくり活動	20,000円
こどもコーラスtanpopo	村内行事での発表、練習による活動	25,000円
フラサークル	練習による仲間作りと、各施設での発表活動	25,000円
そらまめの会	留守家庭児童の交流の場作り	25,000円
中大池健康花づくりの会	花づくりを通じた環境整備と仲間作り	15,000円
シニア大山形会	シニアグループの社会参加生きがい活動	25,000円
民話クラブ「灯」	紙芝居を中心とした施設訪問・仲間作り	25,000円
自然保護集団アークアの会	自然保護及び研究調査・自然体験活動	25,000円
やまがたウィンドアンサンブル	楽器演奏による交流、施設訪問活動	25,000円
わんぱく広場	親子対象の食育体験活動と交流	25,000円
おはなしの会	村内を中心とした読みかせ活動と学習	15,000円
鷹の窪自然公園を愛する会	公園花壇の育成、花苗の育苗、観光協会の花祭りへ協力、その他	25,000円
山形音楽クラブ	施設等を訪問し、コーラスによる交流活動	25,000円
薪俱樂部やまがた	間伐材を利用した新エネルギー協働調達事業	25,000円
上大池老人クラブ	地域高齢者のスポーツ・カラオケ・旅行など認知症予防、地区環境美化	25,000円
合 計		590,000円

平成28年度 山形村社会福祉協議会 普通会員会費納入のお願い

山形村社会福祉協議会では、住民(会員)の皆さんより納入いただく会費を地域福祉事業(活動)の財源とさせていただきます。

今年度も皆さんのご協力を、宜しくお願い申し上げます。

***普通(世帯)会員会費の納入期間 7月1日～7月30日**

連絡班ごとに納入いただきます。ご協力をお願い申し上げます。

福祉なんでも相談 無料相談

- ◆日 時 第2火曜日の13:30～15:30 ◆場 所 いちいの里すばる 会議室
- ◆内 容 障害者年金に関する手続き・制度相談/相続、財産のことで気になっている事
- ◆相談希望の方は、第1週目の金曜日までに下記連絡先へ、電話にてお申込みください。
(当日予約優先となります)



☆平成28年度 年間予定表☆

7月12日(火)	10月11日(火)	1月10日(火)
8月9日(火)	11月8日(火)	2月14日(火)
9月13日(火)	12月13日(火)	3月14日(火)

お申込み・お問い合わせ

社会福祉法人 山形村社会福祉協議会
TEL 97-2102 (担当: 桐原・吉澤・西澤)

行政心配ごと相談

平成28年度 相談日	7月21日(木)・8月22日(月)・9月20日(火)
	10月20日(木)・11月21日(月)・12月20日(火)
	1月20日(金)・2月20日(月)・3月21日(火)

家庭の事、お金の事、健康の事など様々な相談を相談員の方ののっていただけます。
実施時間は午後1時30分～午後3時30分
保健センターいちいの里談話室にて行なっています。

まほろば (社協広報/第72号) 平成28年6月24日発行

- 発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会(山形村保健福祉センターいちいの里内)
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108
ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>
●「まほろば」に掲載できなかった記事についてはホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。